

第1回検討委員会での委員意見まとめ

意見の性質		委員意見	検討テーマとの主な関連			
			①	②	③	④
学校	背景	学習指導要領「社会に開かれた教育課程」実現の必要性				
		学校運営協議会設置の努力義務（補助金とも関連）				
	課題	教員の多忙化、働き方改革の必要性	●			
		求められる役割の増加をこのまま学校が担えるのか	●			
		教職員の異動にも対応できる持続可能な体制が必要		●		
		地域コーディネーターによる強みの違い		●		
	方向性	学校からの情報発信が必要			●	
一律・公平・平等から個別最適な学びへ		●				
学校のための地域でなく、地域の中にある学校という考え方		●				
		部活動や学習支援などに地域の協力を得たい		●		

意見の性質		委員意見	検討テーマとの主な関連			
			①	②	③	④
家庭 (保護者)	背景	共働き世帯の増加				
		旧時代的な体制（PTA）				
	課題	子どもの卒業で関係が途切れてしまう				●
		役員決めでの苦勞（PTA）				●
		通年で役割を担う負担感（PTA）				●
	方向性	年度や役員に左右されない体制づくり（PTA）		●		
学校とのコミュニケーション求める声（PTA）				●		
ゆるく繋がり、ゆるく関わることができないか					●	

意見の性質		委員意見	検討テーマとの主な関連			
			①	②	③	④
地域	背景	70年代モデルからの脱却				
		コロナ禍により学校その他の機関との接触機会が減少				
	課題	取組みありきでは負担感			●	
		学習指導要領などの専門知識ない			●	
		学校からの情報提供が欲しい			●	
		担い手不足、高齢化				●
		同じ人ばかりで新しい人が入りにくい				●
	方向性	関わりたいがきっかけがない				●
		仲良く、風通し良く			●	
		各機関のチームビルドのうえに連携がある				●



【検討テーマ（案）】

- ① これからの学校が子どものために大切にしていきたい機能は
- ② 子どもの学びや体験活動を充実させるために何が必要か
- ③ 立場異なる関係者のベクトルを合わせ、ゴール共有の仕組みや方法は
- ④ 負担の軽減と主体的な参画を促すきっかけづくり（単発で、気軽に、得意分野で）